

2019年度水辺の自然再生共同シンポジウム

里山・里地 豊かな自然の保全と活用

侵略的外来種防除による保全と世界農業遺産「大崎耕土」の推進

宮城県大崎市里山のため池：ニホンタンボポが自生しシナイモツゴやゼニタナゴなど多くの在来種が生息。アメリカザリガニが侵入・繁殖。



シナイモツゴ郷の米：
シナイモツゴ生息池を保全する農業者が生産する生き物ブランド米



新開発のザリガニ連続捕獲装置



アメリカザリガニ：大崎市ため池で捕獲、80～220頭／台



ウチダザリガニ：洞爺湖で捕獲、80～330頭／台

北海道洞爺湖：ワカサギやヒメマスが生息。
ウチダザリガニが侵入・繁殖。

2019年10月26日(土) 10:00～17:15

会場：東京環境工科専門学校（東京都墨田区江東橋）

主催：水辺の自然再生共同シンポジウム実行委員会

（NPO法人シナイモツゴ郷の会、旧品井沼周辺ため池群自然再生協議会、
全国ブラックバス防除市民ネットワーク、ナマズのがっこう）

後援：大崎市、大崎市教育委員会、JA新みやぎ、TOYOTIREグループ環境保護基金

《 企画責任団体：NPOシナイモツゴ郷の会 MAIL:kiyotaka-toto@ktf.biglobe.ne.jp 》

主催：水辺の自然再生共同シンポジウム実行委員会（NPO法人シナイモツゴ郷の会、旧品井沼周辺ため池群自然再生協議会、全国ブラックバス防除市民ネットワーク、ナマズのがっこう）

後援：大崎市、大崎市教育委員会、JA新みやぎ、TOYOTIREグループ環境保護基金

《 問い合わせ先：シナイモツゴ郷の会 MAIL:kiyotaka-toto@ktf.biglobe.ne.jp TEL：090-4043-3692 》